

議事第2号 平成29年度病院事業について

ア. 高度急性期・急性期機能の病院としての役割を果たす

- ◎脳卒中科の立ち上げ
- ◎医師の長時間労働適正化に向けた関係機関や市民への協力をお願い

イ. チーム医療により患者さんを支える

- ◎診療支援チームの充実
- ◎患者さんと医療者との潤滑油として重要なボランティアの活躍

ウ. 地域医療に貢献する

- ◎患者総合支援センターの充実
- ◎完全予約制の実施における、かかりつけ医からのFAX事前予約の推進
- ◎高度急性期・急性期機能の病院として地域包括ケアシステムを支える
- ◎迅速転院システム、パスの利用による早期転院の実施

エ. 職員が満足して働き続けることができる病院を目指す

- ◎職員の負担軽減や長時間労働対策の実施
- ◎職員がモチベーションを保ち続けるための支援
- ◎医療安全の徹底

オ. 健全な経営を推進する

- ◎費用削減などによる収支のバランスを考えた効率的な経営の推進

議事第3号 平成30年度病院運営について

ア. 高度急性期・急性期機能の病院としての役割を果たす

- ◎関係機関や市民との協力による適正受診の推進
- ◎脳卒中、心大血管疾患、多発外傷などに対応するための三次救急の強化
- ◎新潟医療圏における周産期医療への貢献

イ. 患者サービスを充実する

- ◎認知症ケアチームの立ち上げをはじめとする診療支援チームの充実
- ◎複数主治医制やチームの協力により患者さんを支える
- ◎引続きボランティアに活動していただけるような企画の実施

ウ. 地域医療に貢献する

- ◎患者総合支援センターの充実や病病連携・病診連携の更なる推進
- ◎退院支援における迅速転院システム、パスの利用による早期転院の実施
- ◎高度急性期・急性期機能の病院として地域包括ケアシステムを支える

エ. 働きがいのある病院を目指す

- ◎チーム医療推進による職員の負担軽減や長時間労働対策の実施
- ◎職員がモチベーションを保ち続けるための支援
- ◎医療安全の徹底

オ. 健全な経営を推進する

- ◎当院での治療を必要とする患者への対応による収益の確保
- ◎材料費の抑制など、費用の適正化による効率的な執行

平成29年度決算見込み及び平成30年度予算（案）について

(1) 平成29年度決算見込み

業務予定量				
区分				
		29年度当初 A	29年度決算 B	当初との差 B-A
入院	病床利用率 ①	90.7 %	88.0 %	△ 2.7 %
	(うち一般病床) ②	(92.5 %)	(89.5 %)	△ 3.0 %
	延患者数 ③	223,854 人	217,130 人	△ 6,724 人
	1日平均患者数 ④	613 人	595 人	△ 18 人
外来	入院単価 ⑤	69,185 円	70,644 円	1,459 円
	(うち一般病床) ⑥	(70,000 円)	(71,574 円)	1,574 円)
	延患者数 ⑦	268,400 人	254,899 人	△ 13,501 人
	1日平均患者数 ⑧	1,100 人	1,045 人	△ 55 人
	外来単価 ⑨	18,000 円	19,614 円	1,614 円

(2) 平成30年度予算（案）の概要

業務予定量				
区分				
		30年度予算案 C	29年度当初 A	差引増減 C-A
入院	病床利用率 ①	87.8 %	90.7 %	△ 2.9 %
	(うち一般病床) ②	(89.5 %)	(92.5 %)	(△ 3.0 %)
	延患者数 ③	216,657 人	223,854 人	△ 7,197 人
	1日平均患者数 ④	594 人	613 人	△ 19 人
外来	入院単価 ⑤	70,861 円	69,185 円	1,676 円
	(うち一般病床) ⑥	(71,700 円)	(70,000 円)	(1,700 円)
	延患者数 ⑦	253,760 人	268,400 人	△ 14,640 人
	1日平均患者数 ⑧	1,040 人	1,100 人	△ 60 人
	外来単価 ⑨	19,800 円	18,000 円	1,800 円

収益的収支 (税込、単位：千円)				
区分				
		29年度当初 A	29年度決算 B	当初との差 B-A
事業収益 ⑩		24,837,088	24,783,019	△ 54,069
医業収益 ⑪		20,846,147	20,848,487	2,340
うち入院収益 ⑫		15,487,255	15,338,987	△ 148,268
うち外来収益 ⑬		4,831,200	4,999,602	168,402
医業外収益 ⑭		3,958,703	3,913,295	△ 45,408
うち負担金交付金 ⑮		2,469,588	2,468,358	△ 1,230
長期前受金戻入 ⑯		1,135,104	1,100,289	△ 34,815
附帯事業収益 ⑰		22,238	21,217	△ 1,021
特別利益 ⑱		10,000	20	△ 9,980
事業費用 ⑲		24,758,781	24,723,292	△ 35,489
医業費用 ⑳		24,129,414	24,101,478	△ 27,936
うち給与費 ㉑		11,702,585	11,333,979	△ 368,606
材料費 ㉒		6,552,089	6,989,634	437,545
経費 ㉓		3,612,671	3,561,134	△ 51,537
減価償却費 ㉔		2,123,881	2,109,280	△ 14,601
医業外費用 ㉕		567,473	567,117	△ 356
附帯事業費用 ㉖		50,894	50,330	△ 564
特別損失・予備費 ㉗		11,000	4,367	△ 6,633
収支損益 ㉘		78,307	59,727	△ 18,580
経常収支 ㉙		79,307	64,074	△ 15,233

収益的収支 (税込、単位：千円)				
区分				
		30年度予算案 C	29年度当初 A	差引増減 C-A
事業収益 ⑩		24,592,340	24,837,088	△ 244,748
医業収益 ⑪		20,880,631	20,846,147	34,484
うち入院収益 ⑫		15,352,486	15,487,255	△ 134,769
うち外来収益 ⑬		5,024,448	4,831,200	193,248
医業外収益 ⑭		3,679,606	3,958,703	△ 279,097
うち負担金交付金 ⑮		2,355,170	2,469,588	△ 114,418
長期前受金戻入 ⑯		979,339	1,135,104	△ 155,765
附帯事業収益 ⑰		22,103	22,238	△ 135
特別利益 ⑱		10,000	10,000	0
事業費用 ⑲		24,427,634	24,758,781	△ 331,147
医業費用 ⑳		23,840,784	24,129,414	△ 288,630
うち給与費 ㉑		11,513,633	11,702,585	△ 188,952
材料費 ㉒		6,903,326	6,552,089	351,237
経費 ㉓		3,462,481	3,612,671	△ 150,190
減価償却費 ㉔		1,731,148	2,123,881	△ 392,733
医業外費用 ㉕		526,630	567,473	△ 40,843
附帯事業費用 ㉖		49,220	50,894	△ 1,674
特別損失・予備費 ㉗		11,000	11,000	0
収支損益 ㉘		164,706	78,307	86,399
経常収支 ㉙		165,706	79,307	86,399

資本的収支 (税込、単位：千円)				
区分				
		29年度当初 A	29年度決算 B	当初との差 B-A
資本的収入 ⑳		1,617,147	1,606,246	△ 10,901
企業債 ㉑		539,900	522,300	△ 17,600
負担金・補助金等 ㉒		1,077,247	1,077,247	0
資本的支出 ㉓		2,741,446	2,719,017	△ 22,429
建設改良費 ㉔		744,549	722,120	△ 22,429
企業債償還金 ㉕		1,996,897	1,996,897	0
資本的収支不足額 ㉖		△ 1,124,299	△ 1,112,771	11,528
内部留保資金(引当金除く) ㉗		6,660,677	6,809,988	149,311

資本的収支 (税込、単位：千円)				
区分				
		30年度予算案 C	29年度当初 A	差引増減 C-A
資本的収入 ⑳		3,672,666	1,617,147	2,055,519
企業債 ㉑		2,757,300	539,900	2,217,400
負担金・補助金等 ㉒		915,366	1,077,247	△ 161,881
資本的支出 ㉓		4,499,658	2,741,446	1,758,212
建設改良費 ㉔		2,928,571	744,549	2,184,022
企業債償還金 ㉕		1,571,087	1,996,897	△ 425,810
資本的収支不足額 ㉖		△ 826,992	△ 1,124,299	297,307
内部留保資金(引当金除く) ㉗		7,098,391	6,660,677	437,714

主な建設改良事業		
事業名	事業費	財源内訳 企業債
医療情報システム更新事業	2,200,000	2,200,000

中期経営計画の見直しについて

◎経営指標

		平成29年度	平成30年度	2019年度	2020年度	2021年度
入院指標 (一般病床)	病床利用率(%) (1)	92.5%	89.5%	89.5%	89.5%	89.5%
	延べ患者数(人) (2)	220,132	212,992	213,576	212,992	212,992
	1日平均患者数(人) (3)	603	584	584	584	584
	入院単価(円) (4)	70,000	71,700	72,000	72,200	72,400
	新入院患者数(人) (5)	17,155	16,608	16,653	16,608	16,608
	平均在院日数(日) (6)	11.8	11.8	11.8	11.8	11.8
外来指標	延べ患者数(人) (7)	268,400	253,760	253,760	252,720	251,680
	1日平均患者数(人) (8)	1,100	1,040	1,040	1,040	1,040
	外来単価(円) (9)	18,000	19,800	20,000	20,100	20,200

◎収支計画

(税込、単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	2019年度	2020年度	2021年度
収 益 的 収 支	医業収益 (10)	20,846,147	20,880,631	21,040,193	21,047,640	21,094,503
	うち入院収益 (11)	15,487,255	15,352,486	15,458,652	15,458,982	15,501,581
	うち外来収益 (12)	4,831,200	5,024,448	5,075,200	5,079,672	5,083,936
	医業外収益 (13)	3,958,703	3,679,606	3,625,806	3,718,139	3,656,443
	うち負担金交付金 (14)	2,469,588	2,355,170	2,335,156	2,302,857	2,292,941
	うち長期前受金戻入 (15)	1,135,104	979,339	942,532	1,064,230	1,012,450
	附帯事業収益 (16)	22,238	22,103	22,103	22,103	22,103
	特別利益 (17)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	収益計 (18)	24,837,088	24,592,340	24,698,103	24,797,882	24,783,049
	医業費用 (19)	24,129,414	23,840,784	24,245,964	24,240,316	24,168,573
	うち給与費 (20)	11,702,585	11,513,633	11,563,934	11,603,322	11,645,328
	うち材料費 (21)	6,552,089	6,903,326	6,975,030	6,997,197	7,013,136
	うち経費 (22)	3,612,671	3,462,481	3,468,517	3,480,551	3,480,551
	うち減価償却費 (23)	2,123,881	1,731,148	2,104,449	2,025,178	1,895,279
	医業外費用 (24)	567,473	526,630	550,670	530,289	501,402
	附帯事業費用 (25)	50,894	49,220	49,243	49,267	49,267
	特別損失・予備費 (26)	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
	費用計 (27)	24,758,781	24,427,634	24,856,877	24,830,872	24,730,242
収支損益 (28)	78,307	164,706	△ 158,775	△ 32,989	52,808	
経常収支 (29)	79,307	165,706	△ 157,775	△ 31,989	53,808	
医業収支 (30)	△ 3,283,267	△ 2,960,153	△ 3,205,771	△ 3,192,676	△ 3,074,070	
経常収支比率 (31)	100.3%	100.7%	99.4%	99.9%	100.2%	
医業収支比率 (32)	86.4%	87.6%	86.8%	86.8%	87.3%	
給与費対医業収益比率 (33)	56.1%	55.1%	55.0%	55.1%	55.2%	
材料費対医業収益比率 (34)	31.4%	33.1%	33.2%	33.2%	33.2%	
材料費対入外収益比率 (35)	32.3%	33.9%	34.0%	34.1%	34.1%	

<平成30年改定>

【議事第 6 号】新・中期計画の評価方法について

【前中期計画の評価方法及び問題点】

資料 別紙 1

1. 評価の単位と方法

- (1)複数の指標をまとめた主要項目の単位で行う
- (2)各指標の達成数の割合に応じて、5段階点数評価を行い（客観的評価）、前年度実績を上回る指標数の割合が多い場合は、客観的評価に加点する

2. 評価の回数

- (1)実績見込み段階（2月）と実績段階（翌年度7月）の各2回行う
- (2)3月頃と11月頃の運営審議会に諮り、ご審議いただく

3. 問題点

- (1)個々の指標実績に対する評価がない（達成、未達成の判断のみ）
- (2)加点の際などにおいて、主要項目に対する評価が恣意的になる場合がある

【他の政令指定都市立病院の状況】

1. 評価の単位と方法

- (1)全ての病院において、数値目標単位で評価を行っている
- (2)ただし、数値目標に加えて、複数の数値目標を内容別に分類した“大分類”単位の評価を行うケースはある
- (3)ほとんどの都市において、数値目標の達成割合で評価し、評価点に具体的な線引き（80%未満で〇点など）をしているが、加点を行う病院はない
- (4)多くの都市において、点数化以外に、文章による「取り組み内容」の記載があるが、「取り組み内容」が直接点数評価に影響することはない

2. 評価の回数

- (1)全ての病院において、実績に基づき1回のみ、評価を行う

【新・中期計画における評価方法について（案）】

資料 別紙2

1. 評価の単位と方法

- (1) 指標（数値目標）単位で評価を行う
- (2) 主要項目別の総括的な点数評価はしない
- (3) 加点はしない

2. 各部署による「主な取組み内容」の評価

- (1) 主要項目別に「主な取組み内容」を記載する。
- (2) 主な取組み内容は、点数評価には影響しない。

3. 評価の回数

- (1) 年1回とし、従来の実績評価時期（翌年度7月頃）に行う
- (2) その結果を、11月頃の運営審議会に諮る

4. 評価点（案）

- (1) 5段階（ただし4+1段階）とする
- (2) 数値指標は、A～D+Sとする

各指標の達成率が、	0%～50%未満	…	D
	50%～80%未満	…	C
	80%以上	…	B
	100%以上	…	A
	120%以上	…	S

(3) 数値以外の指標について

例えば、「急性期看護補助体制加算 50:1」などは、2段階とする

指標の達成状況が、	未達成	…	D
	達成	…	A

【議事第6号別紙1】 中期計画（前計画） 評価例

(1) 前計画の体系

理念	視点	基本方針	主要項目	指標数
患者とともにある全人的医療	患者	患者さんに信頼される、ぬくもりのある医療をめざします	1. 患者サービスの充実	14
			2. 医療安全対策	7
			3. 感染対策（H26年度から項目新設）	3
			4. 第三者評価	6
			5. 医療の質の可視化	2
	業務	重症・専門・救急を中心に、質の高い医療をめざします 地域医療機関や福祉施設と連携し人々の健康支援をめざします	6. 重症救急患者受入れへのシフト	7
			7. 地域の基幹病院として高度・先進・専門医療の提供	17
			8. 地域医療支援病院としての機能の充実	7
			9. 公立病院として地域医療に貢献	6
	人材	人間性豊かな医療人の育成をめざします	10. 臨床研修指定病院としての機能の充実	10
			11. 計画的な職員採用と人材育成の充実	4
			12. 付帯設備の機能充実	2
	財務	健全経営を推進します	13. 職員満足度の向上	7
			14. 効率的経営の推進	9
			15. 新施設建設事業の円滑な推進	2

103

(2) 評価の例

5:計画値以上 4:計画通り(指標80%超) 3:概ね計画通り(50~80%未満) 2:計画を未達成(50%未満) 1:未着手

病院の理念		患者とともにある全人的医療		平成27年度（2015）			平成28年度（2016）						
視点	基本方針	主要項目	目標	評価点【4】			評価点【4】						
				評価の概要			評価の概要						
業務(2)	地域医療機関や福祉施設と連携し、人々の健康支援をめざします	地域医療支援病院としての機能の充実	○病病連携、病診連携の推進 ○外来医療から入院医療へのシフト ○地域の保険薬局薬剤師との連携 ○地域連携パスの拡充	平成27年4月にこれまでの地域医療室とがん診療支援室が合併して患者総合支援センター（スワンプラザ）の本格稼働を開始した。 紹介率、逆紹介率は共に基準をクリアしている。紹介については、紹介状必須の診療科を増やしており徐々に紹介件数が増加傾向にある。また、逆紹介についても、診療科医師や医療秘書に適切な情報提供書の記載方法を指導したことなどから基準をクリアできたと評価している。FAX事前予約は徐々に増加しており年間で1,112件増加した。外来医療から入院医療へのシフトは目標までまだ不十分であるものの、平成27年度は入院患者数がやや増加し、入院延患者割合はやや増加した。「スワンプラザ」開設後は入院がスムーズにいくように、退院支援と入院支援の拡大充実に向けて取り組んでいる。薬剤師との連携は年6回行う「緩和ケアリンク」の機会に一般的な事も含めた学習会を行っている。以前からの脳血管障害・大腿骨頸部骨折地域連携パスとともに糖尿病・AMI地域連携パスを継続し、地域連携パス稼働数は約50件増加したが、五大がんに対するパスでは、全体の登録数が減少傾向である。			平成27年4月にこれまでの地域医療室とがん診療支援室が合併して患者総合支援センター（スワンプラザ）の本格稼働を開始し、2年が経過した。「スワンプラザ」開設後は患者さんとその家族がワンストップでセンターを訪れ、入院がスムーズにいくように、退院支援と入院支援の拡大充実に向けて取り組んでいる。同じフロアに多職種がいることによる業務上のメリットも出てきた。 紹介率、逆紹介率は共に基準をクリアし昨年度より4-5%増加している。逆紹介について、診療科医師や医療秘書に適切な情報提供書の記載方法を指導したことなどから基準を十分にクリアできたと評価している。FAX事前予約は今年度から減少傾向にある。 外来医療から入院医療へのシフトは目標までまだ不十分であり、平成28年度は入院患者数が若干減少した。 以前からの脳血管障害・大腿骨頸部骨折地域連携パスとともに糖尿病・AMI地域連携パスを継続し、地域連携パス稼働数は7件増加し、五大がんに対するパスでは2件の増加であった。今後は近い将来の退院支援加算1の取得を目標として、さらに「スワンプラザ」開設によるメリットも評価していきたい。						
				指標の達成 5/7 (71%) 客観的評価 【3】			指標の達成 5/7 (71%) 客観的評価 【3】						
				指標項目			指標	実績	達成	指標	実績	達成	対前年
				① 紹介率	① 66%以上	70.7%	○	① 67%以上	74.3%	○	○		
				② 逆紹介率	② 72%以上	74.3%	○	② 73%以上	79.9%	○	○		
				③ FAX事前予約	③ 13,000件	12,899件	×	③ 13,500件	12,588件	×	▼		
				④ 登録医	④ 495人	585人	○	④ 500人	604人	○	○		
⑤ 共同診療実施件数	⑤ 36件	49件	○	⑤ 38件	38件	○	▼						
⑥ 総延患者数に対する入院延患者数の占める割合	⑥ 48%	45.4%	×	⑥ 49%	45.4%	×	-						
⑦ 地域連携パス稼働数（大腿骨骨折、脳卒中…）	⑦ 200件	232件	○	⑦ 210件	239件	○	○						

【議事第6号別紙2】 新・中期計画（平成29年度～平成33年度）評価（案）

評価点…50%未（または計画に満たない）=D、50～80%未=C、80%以上=B、100%以上（または計画どおり）=A、大幅（120%以上）に上回る=S

◎基本理念「患者とともにある全人的医療」

基本方針	病院の方向性や将来像	方向性や将来像を踏まえて、病院が目指すところ	主要項目	主に取り組んだこと	指標	単位	年次指標					各指標の実績評価			
							H29	H30	H31	H32	H33	H29	評価点	H30～	(評価点の解説)
重症・専門・救急を中心、質の高い医療をめざします	新潟医療圏における高度急性期、急性期病院としての役割	高度急性期、急性期病院として、救急患者の積極的な受け入れをはじめ、一次、二次医療機関や救急ステーションとの連携強化などにより、新潟医療圏域における重症、急性期医療を提供します。また、質の高い医療を提供し続けるために、施設の整備や医療機器の導入について計画的に検討を行います。	救急搬送患者の積極的な受け入れ	主に	1 救急車搬送の受け入れ台数	台	6,500					7,000	A	…	100%超
					2 救急車搬送の応需率	%	85					85	A		達成率100%
					3 ドクターカーの出動回数	回	1,700					1,500	B		達成率88%
					4 急患外来における二次・三次救急患者の割合	%	50					39	C		達成率78%
					5 総合周産期特定集中治療室管理料（新生児）加算の患者数	人/月	200					250	S		120%超
					6 総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）加算の患者数	人/月	180					89	D		達成率49%
					7 手術総数	件	7,000								
					8 手術のうち、腹腔鏡下手術の件数	件	550								
					9 悪性腫瘍手術件数（内視鏡切除）	件	250								
					10 脳血管内手術数	件	70								
					11 心構造疾患カテーテル治療件数	件	35								
					12 冠動脈カテーテル治療件数	件	300								
					13 大動脈ステンドグラフト治療数	件	50								
					14 リニアック治療、高精度放射線治療数	件	7,490	7,540	7,640	7,640	7,640				
					15 電子クリニカルパス稼働率	%	30								
患者さんに信頼される、ぬくもりのある医療をめざします	患者サービスの充実	患者総合支援センター「スワンプラザ」における患者相談窓口の一元化をはじめとする丁寧な相談への対応により患者サービスの充実に努めるほか、がん相談支援室におけるがん患者及び家族等への支援を行います。また、継続して医療の質を評価する指標を測定し公開することで、医療の質の向上と改善に努めながら、現在高い評価をいただいている患者満足度の維持や更なる向上を目指します。	患者サービスの充実	主に	16 医療福祉相談件数（患者総合支援センター）	件	2,420	2,440	2,460	2,480	2,500	(略)			
					17 入院支援件数（患者総合支援センター）	件	2,300	2,350	2,400	2,450	2,500				
					18 がん相談支援室における相談件数	件	725	750	775	800	825				
					19 ボランティア登録者数	人	55								
					20 退院時医療費のお知らせ（患者配布率）	%	60	60	65	65	70				
					21 病院指標の公開数	件	35								
					22 患者満足度調査結果 入院	%	90								
					23 医療安全研修会開催回数	回	2								
					24 医療安全研修会参加率	%	50	55	60	65	70				
					25 インシデント報告の総数	件	3,600								
医療安全の徹底	インシデント報告の徹底と、その分析や改善策の検討のほか、医療安全研修などを通じて、医療安全の徹底を図ります。	医療安全対策		主に	26 手術患者における肺血栓塞栓症の発生件数	件	0					1	D		0=A、それ以外=D
					27 感染管理研修会開催回数	回	2								
					28 感染管理研修会参加率	%	95								
					29 人工呼吸器関連肺炎感染率	件/1000日	5以下	5以下	4以下	4以下	4以下	4	A		「以下」の評価について↓
					30 紹介率	%	72	73	74	75	76				
地域医療機関や福祉施設と連携し、人々の健康支援をめざします	地域医療支援病院としての役割	地域医療支援病院として、紹介や逆紹介を通じて病病連携や病診連携を強化するなど、相互が機能を発揮する地域完結型医療を実現する役割を担います。また、公立病院として、市民向け公開講座の開催や職場体験などを通じて地域医療に貢献します。	地域医療支援病院としての機能の充実	主に	31 逆紹介率	%	75	76	77	78	79	(略)			
					32 FAX事前予約件数	件	12,700	12,800	12,900	13,000	13,100				
					33 登録医の人数	人	610	615	620	625	630				
					34 退院支援患者数	人	255	260	265	270	275				
					35 市民向け公開講座の開催回数（いきいき、五大がんなど）	回	10	10	10	10	10				
					36 看護部中学生職場体験受入数	人	20								
					37 中学生向け医療体験セミナー参加者満足度（アンケート）	%	80%								
					38 病院まつり来場者満足度（アンケート）	%	80%								
人間性豊かな医療人の育成をめざします	地域医療を担う人材育成の取り組み	医師の卒後研修プログラムを含めた体制の整備や、新専門医の受け入れをはじめ、医学生や看護学生の実習も積極的に受け入れるなど、地域医療を担う人材の育成に計画的に取り組めます。	臨床研修指定病院としての機能の充実	主に	39 臨床研修医（初期研修）の受入れ人数	人	26	25	24			(略)			
					40 (基幹施設としての受入れ人数に対する)新専門医の受入れ率	%	80								
					41 医学生の臨床実習受入人数	人	100								
					42 看護実習生の受入人数	人	350								
					43 その他実習生の受入人数（薬剤師など）	人	60								
					44 7対1看護体制の維持	-	維持								
健全な経営の推進	経営分析による課題の洗い出しと改善に取り組みながら、業収支を改善し、経常収支の黒字を維持することを目指します。	効率的経営の推進		主に	45 医師事務補助員の配置	-	15:1					15:1	A		15:1=A、未達成=D
					46 看護補助員の配置	-	急性期看護補助体制加算50:1					50:1	A		50:1=A、未達成=D
					47 認定資格等資格取得支援	-	新規取得者数 5人					4人	D		事務局案↓
					48 職員満足度：全体としてこの病院で働いていることに満足	%	55								
					49 経常収支比率	%	100.3	101.2	100.1	100.5	101.0	(略)			
50 業収支比率	%	86.4	87.7	87.0	87.0	87.5									
51 一日あたりの新入院患者数	人/日	47.0													
52 職員給与費対業収支比率	%	56.1	56.1	55.9	56.2	56.2									
53 材料費対業収支比率	%	31.4	31.4	31.5	31.6	31.6									

各部署で取り組み内容を記載（点はつけない）

事務局案 (H29、H30)	事務局案 (H31～)
S=4未満	S=3以下
A=4～5以下	A=3～4以下
B=5～6以下	B=4～5以下
C=6～7以下	C=5～6以下
D=7を超える	D=6を超える

達成または未達成は2段階とする
A=達成（維持）
D=未達成

事務局案は3段階とする
S=倍の取得者（10人）
A=5人以上取得
D=4人以下